



呉地区全設備休止 について

2023年9月4日

日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所

目次

I . 雇用対策

II . 協力会社対応

III . 解体撤去・跡地活用

I. 雇用対策

基本方針

(2021.5.20合同対策本部会議資料 再掲)

- 当社社員はもとより、今回の対策で影響を受ける関係協力会社についても「雇用の場」の確保に最大限取り組み、関係協力会社も含めた**当社グループ社員全員**の新たな「雇用の場」の確保を目指していく。
- **生産設備休止となる遅くとも半年前程度を目途に**新たな雇用の場を提示し、その後の期間を具体的な実行に向けた準備期間とすることで、円滑な配置転換を図っていく。

行政との連携

(1) 定例ミーティングの開催

- ・ 2020.4 月より、毎月1～2回、広島県・呉市・ハローワーク呉との定例ミーティングを実施
- ・ 月々の人員変動に加え、雇用対策のスケジュール・内容・従業員動向など、様々な情報を提供
- ・ 合同企業説明会等の行政施策についても意見交換を実施

(2) ハローワーク呉、産業雇用安定センターとの連携

- ・ 再就職援助計画に基づき、ハローワーク呉・産業雇用安定センターと連携した退職者支援を実施

配転促進施策

	20上	20下	21上	21下	22上	22下	23上	23下	24上	～
設備休止スケジュール			▲鉄源設備休止(Step1)				▲熱延等全設備休止(Step2)			
Step1	●1次面談		●2次面談 (全体マッチング)		●3次面談/転勤先打診		●転勤説明会(現地見学含む)		●4次面談/転勤応諾確認	
			◇転勤(10月-)							

配転促進施策

	20上	20下	21上	21下	22上	22下	23上	23下	24上	～
設備休止 スケジュール			▲鉄源設備休止(Step1)				▲熱延等全設備休止(Step2)			
Step2	●1次面談		●2次面談 (全体マッチング)		●3次面談/希望再確認 (マッチング調整)		●4次面談/フォロー面談		●転勤先説明会(現地見学含む) ●5次面談/転勤先打診 ●配属先職場見学会 ●6次面談/転勤応諾確認	
							◇転勤(10月-)			

配転促進施策

1. 全社員への説明会、理解活動の実施【2020.2-3】

2020年2月の施策発表以降、数回に分けて、呉地区全社員に対し、**今回施策について説明会**を実施。その後、**職制による全社員の個別対話**を実施。

2. 個人面談の実施、転勤先検討

(1) 人事部門による個別面談

- ① 会社方針・スケジュールの説明、個別事情の確認【2020.05】
- ② 転勤先地域の説明・本人意向（職種/勤務地）の確認等【2020.10】
- ③ 転勤先の打診、本人意向の確認、個別事情の確認【2020.12(step1) 2022.12(step2)】

配転促進施策

④ 転勤可否の確認、住居希望の確認、個別事情の確認【2021.05(step1) 2023.3(step2)】

→ 上記を通じて、**転勤に対する本人意向や事情などをきめ細かく確認**

(2) 転勤先検討

現在と同一職種を優先して転勤先職場を決定する**職種マッチング**、希望する地域を優先して転勤先職場を決定する**勤務地マッチング**の両方の観点から最適案を作成

配転促進施策

3. 転勤説明会の実施

- ・転勤先での勤務概要・厚生施設・生活環境などについて説明し、社員・家族の不安を軽減・払拭することを目的として、転勤先説明会を開催
〈名古屋、関西(和歌山、大阪、尼崎)、瀬戸内(広畑)、九州(八幡、大分)〉

(1) 現地工場見学会 (計60回)

〈step1:21回、step2:39回(現地見学19回、配属先見学20回)〉

- ・工場見学(受入職場見学、受入職場社員、先行転勤者との交流 等)
- ・社宅・寮とその周辺住環境内覧・見学
(役所、学校、病院、最寄り駅、商業施設等)

※上記の他、家族のみを対象とした社宅・寮とその周辺住環境内覧・見学会も開催

配転促進施策

(2) オンライン見学会 (計21回)

〈コロナ期間中の対応として、step1対象者に実施〉

- ・転勤先工場、社宅・寮とその周辺住環境をWebで紹介(現地見学会と同内容)

4. 制度面での支援等

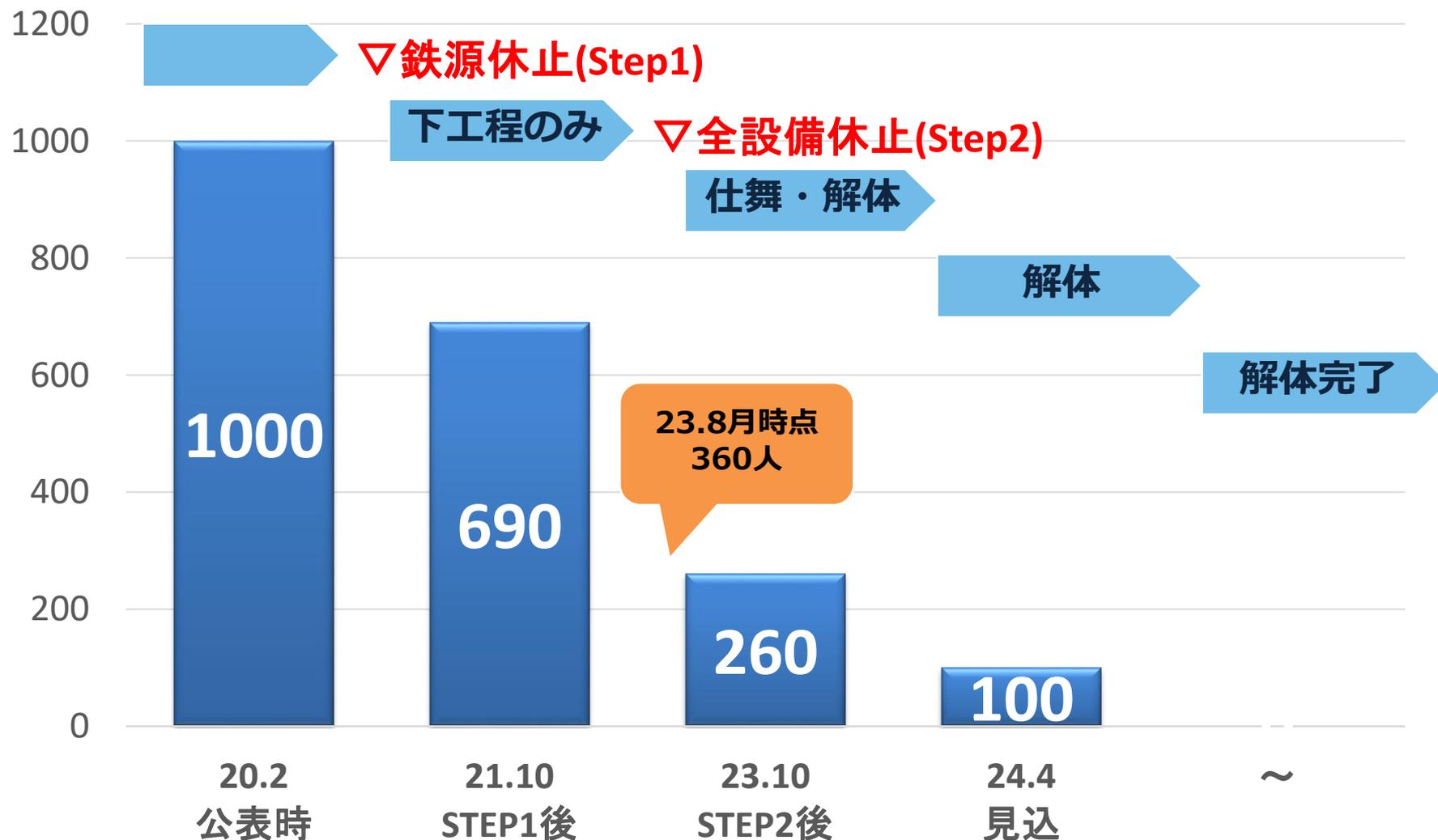
(1) 転勤者への支援

- ・特別赴任手当の支給など**転勤特別措置**の実施
- ・「**介護セミナー**」による介護不安払拭

(2) 退職者への支援

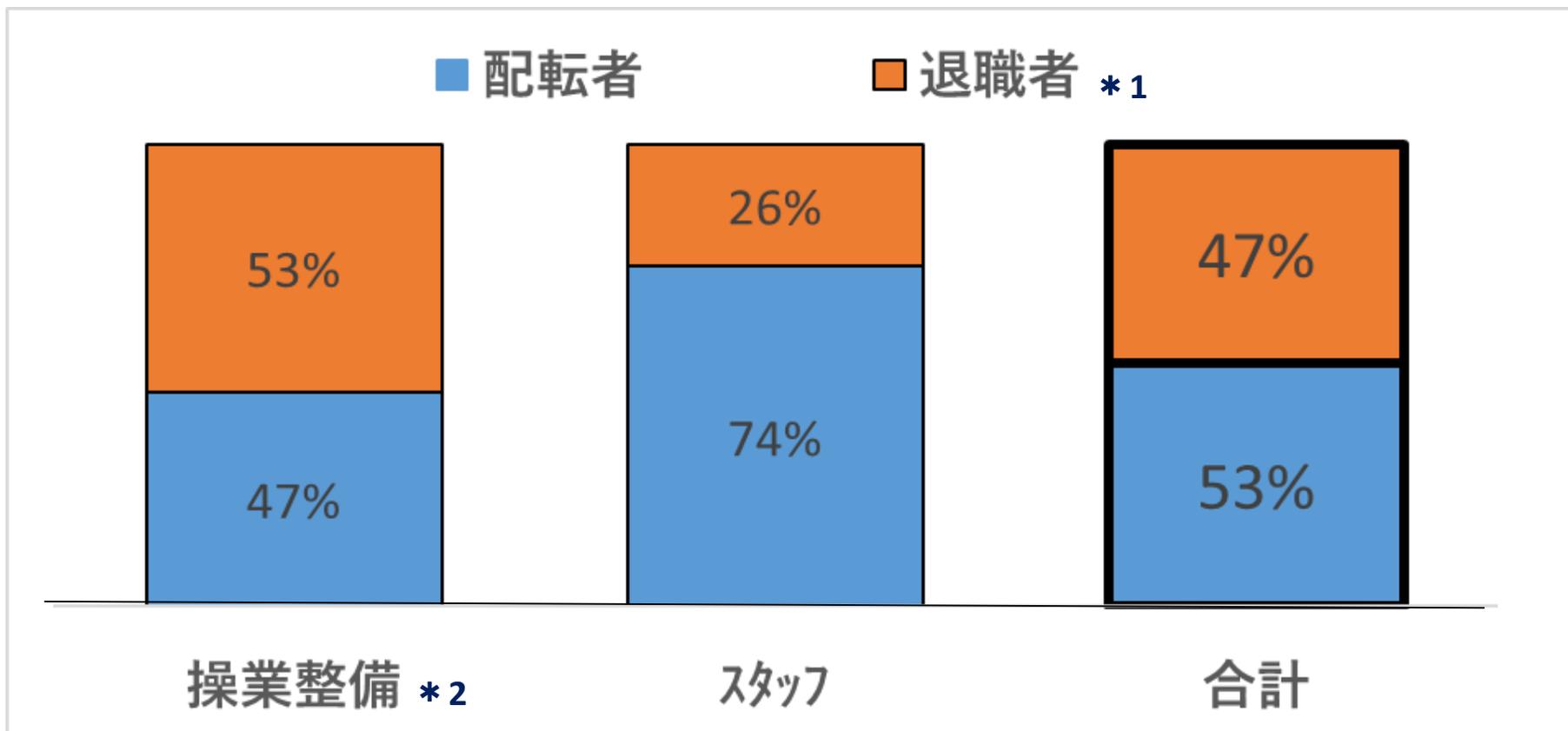
- ・やむを得ず退職せざるを得ない社員についても、**当該事情に配慮した対応**を実施

従業員推移



異動の内訳 (2023.6時点)

1. 配転者、退職者割合 公表～期間合計(見通し含む)



*1 退職者は定年退職者および再雇用契約終了者を除く

*2 操業整備・・・生産現場にて、設備の運転や整備に従事する社員

転勤特別措置

<通常 of 転勤時の諸取扱い>

- ・転居等に伴う諸費用(引越・一時帰宅費等)負担
- ・希望者への寮・社宅の貸与 等

<転勤特別措置>

居所の移動を伴う転勤者が、新職務への対応にできるだけ円滑に取り組めるよう、転勤特別措置を実施

- ・特別赴任手当の支給
- ・持家に関する援助措置(持家売却に関する援助、居住費用等の援助、社宅・寮入居年限の緩和 等) 等

Ⅱ. 協力会社対応

基本方針

協力会社との対話重視

協力会社とは丁寧な対話を重視し、従前より実施している対話の場に加え、個社毎に、原則1回/月の対話の場、1回/半期の対話の場を新設し、対話を通じて当社の支援施策や個社毎の課題や要望を把握

対話の実績

- 2020.2.7公表当日、主要協力会社に**当社施策を説明**
- 従前より実施している主要協力会社の**事業主との懇談会**(主要協力会社で構成)を活用し、**当社より各種情報(生産/稼働計画、支援施策の実施等)を提供**
- **個社毎には、新たに2020年4月以降、原則1回/月、対話(従業員動向、会社進出/再就職情報の提供、補償等)を実施**
- **加えて、2022年7月以降、1回/半期、事業主と地区代表との対話(設備休止スケジュール・仕舞作業に関わる課題や要望等)を実施**

協力会社従業員推移



支援施策

1. 会社マッチング

他製鉄所/地区への支店開設を含む事業進出を支援
→ 希望する会社に対して、他地区業務を提示するとともに、顔合わせ会や工場見学・説明会を実施。

2. 個人マッチング

当社から他製鉄所の協力会社へ、呉地区協力会社社員個人の就職紹介を実施。希望する協力会社の個人マッチングを実施

→ 希望者に対して工場見学・説明会を実施。最終希望者には、採用試験のうえ内定（内定率100%）

この他、協力会社投資設備の残存簿価等の補償等を実施。

Ⅲ. 解体撤去・跡地活用

基本方針

(2021.5.20合同対策本部会議資料 再掲)

- 本格的な解体撤去は**大型重機を使用する非定常作業**となるため、**安全・防災上の観点**から製造ラインの稼働中は実施できないことから、基本的に全設備が休止する**2023年9月末以降に実施**。
- 呉地区の土地は**弊社にとって重要な資産**であり、その跡地の適切な利活用については、**弊社において責任をもって検討**していく。
- また、**解体・撤去**については、①**安全・防災上の観点**、②**建屋・インフラの利活用見極め**、③**トータルコスト** 等を総合的に考慮し、慎重に進める必要があり、**相当の時間を要する**。
- **跡地の具体的利活用**については、土地活用の形態(ex.工業用・商業用)や活用ニーズを踏まえるとともに、解体撤去の進捗状況も加味して**適切に検討**していく。
- 検討に当たっては、**行政とも連携・協議**しながら取り組んでいく。

基本方針

- 解体撤去を円滑に行うべく、**必要費用の引き当て実施**

2021年度（鉄源工程休止時）； **696億円**

2023年度（全設備休止時） ； 2023年度中間
決算で公表予定

- 鉄源設備については、**安全・防災等の観点から必要な準備作業や部分撤去に着手済み。**

行政との連携

- 2022年4月以降、広島県および呉市と、これまでに計6回、解体撤去・跡地活用に関する打ち合わせを実施

【主要テーマ】

敷地面積や主要インフラなど呉地区敷地の概要、解体撤去のスケジュールや進捗状況、構外資産の概要および売却状況など

土地の概要

面積および所在地

区	分	面積 (千㎡)
① 呉地区	工場敷地	1,311
	その他※	121
	小計	1,432
② 白岳寮		8
③ 第一社宅		14
④ 二河社宅		2
⑤ 若葉クラブ		12
合計		1,468

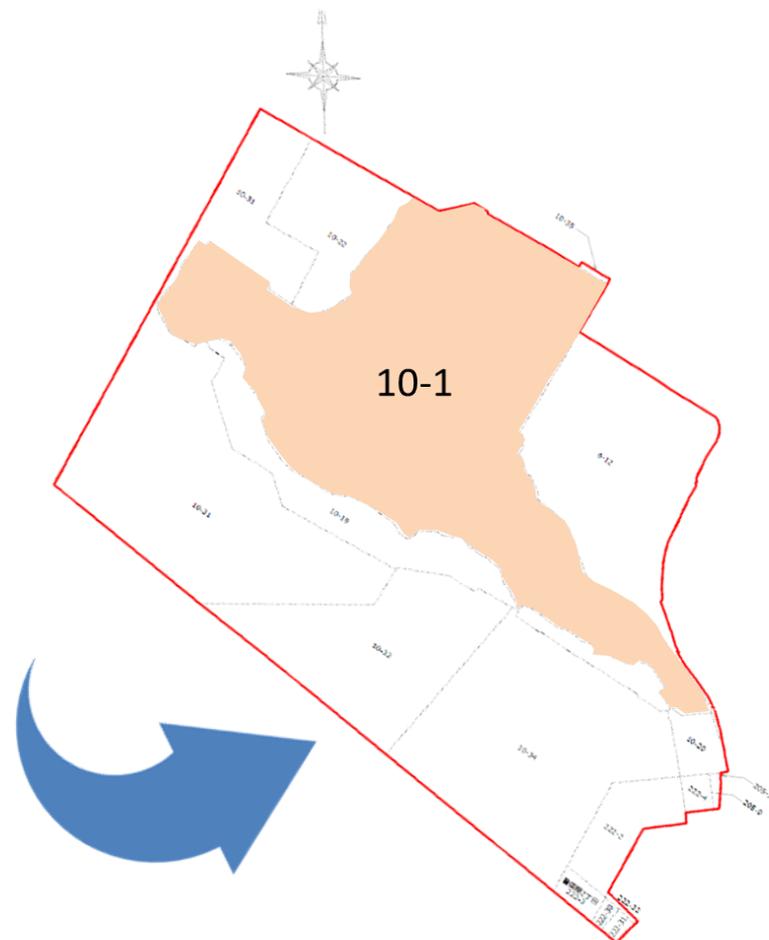
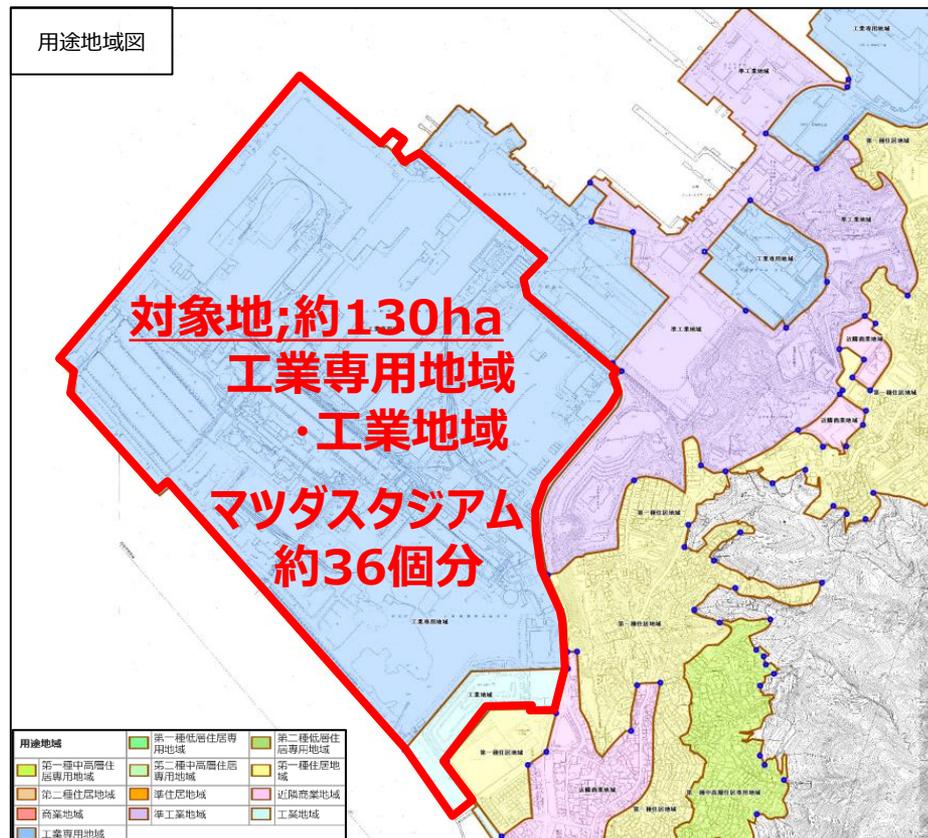
※その他：貯水池駐車場、研究所、日酸跡地 他

位置図



土地の概要

【呉地区】



網掛け部分（10-1）：海軍工廠跡地（払下げ）
 上記以外の地番：日本製鉄（旧日新）が開発

解体撤去の検討状況

1) 設備休止・解体スケジュール(案)

- 鉄源休止：[2021.9月末完了\(計画通り\)](#)
- 全休止：[2023.9月末予定](#)
- 設備解体：全休止以降、本格解体実施予定。

鉄源設備については、安全・防災等の観点から必要な準備作業や部分撤去に着手済み。

<設備解体スケジュール(案)>

		2021		2022		2023		2024~
		上	下	上	下	上	下	
設備 休 止	設備休止		●鉄源休止 (2021.9月)				●全休止 (2023.9月)	
	熱延	→						
	酸洗	→						
	出荷	→						
設備 解 体	鉄源工程 (原料、焼結、高炉、製鋼)	2021.9月休止	事前準備				本格解体	→
			事前準備				本格解体	→
			事前準備				本格解体	→
			事前準備				本格解体	→
	熱延工程					2023.9月休止	事前準備	→ 本格解体 →
	発電所		2021.12月休止	事前準備				→ 本格解体 →

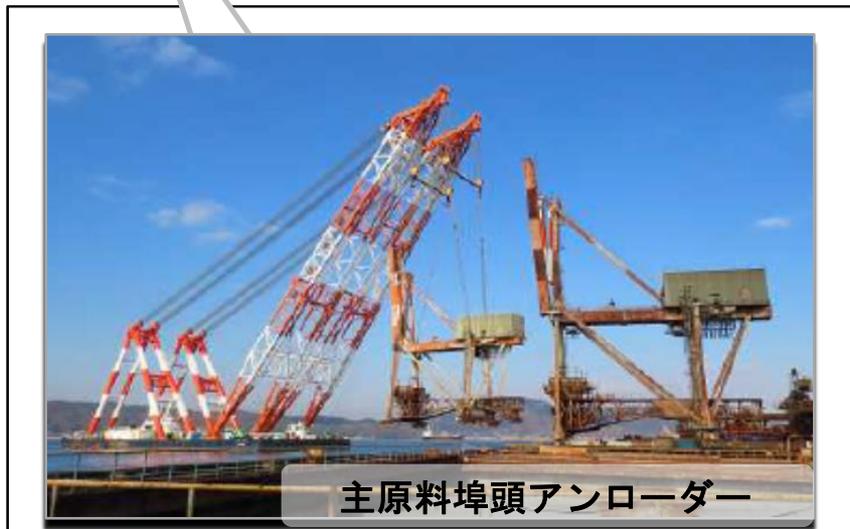
現時点の想定では10年規模の時間を要する見込み

解体撤去の検討状況

2) 事前準備



解体撤去の検討状況



解体業者の起用について

- これまでの比較的小規模の工事については、**すべて地元業者を起用**
- 大規模工事（焼結/煙突、呉サンソ）については、**技術的制約から県外企業を元請に起用したが、二次請け等で地元業者を起用**
- 今後も、経済合理性と技術力を踏まえつつ、**地元業者を積極的に起用する予定。**
（元請会社への地元業者の紹介含む）

跡地活用の検討状況

(1) 構内敷地活用の検討状況

- 呉地区の特性は以下の通り。
 - 立地・面積・・・海沿いの約130haの平地
(マツダスタジアム約36個分)
 - インフラの充実・・・工業用水、電気、ガス、岸壁
これらの特性を活かした上で、敷地全体の有効活用となるよう、様々な活用方案を検討中。
- 具体的な検討に当たっては、行政とも連携・協議しながら取り組んでいく方針。
今後、行政側(国を含む)からの協力要請があれば、真摯に対話していく考え。

跡地活用の検討状況

(2) 構外資産の売却状況

1) 売却完了物件 (位置図)



跡地活用の検討状況

(2) 構外資産の売却状況

2) 売却物件の概要

①若葉クラブ（研修施設）

- ・売却先：海上保安大学校
- ・売却時期：2023年3月
- ・活用方針：研修施設として活用



②白岳寮（独身寮）

- ・売却先：株式会社藤三
- ・売却時期：2023.3（契約済）
2024.3（引渡予定）
- ・活用方針：商業施設



跡地活用の検討・実施状況

(2) 構外資産の売却状況

2) 売却物件の概要

③ 広第一社宅

- ・売却先:株式会社ハローズ
- ・売却時期:2023.3(契約済)
2024.3(引渡予定)
- ・活用方針:商業施設



④ 二河社宅

- ・売却先:株式会社大喜
- ・売却時期:2023.3(契約済)
2024.3(引渡予定)
- ・活用方針:注文住宅(戸建て)



跡地活用の検討状況

(2) 構外資産の売却状況

3) その他の物件



おわりに

- 本日も説明した通り、雇用対策や協力会社対応を円滑に実行しており、**本年9月末、予定通りに全設備を休止する予定**である。
- 弊社社員および協力会社社員の雇用対策や協力会社の事業継続に向けた支援など、**これまで行政に実施してきていただいた様々な施策に感謝**する。
- 2023. 9月末の全設備休止をもって、直ちに新聞報道にあるような瀬戸内製鉄所呉地区の“閉鎖”・“撤退”となるわけではない。**解体撤去が完了するまで、また跡地活用が決まりその対応が完了するまで、弊社は呉に存続**する。
- 弊社は、**行政とも相談しながら、責任を持って解体撤去、跡地活用を進めていく所存**である。

